

発見！白井の仕事人 56

白井工業団地の核を担って 一般社団法人白井工業団地協議会

今回は、白井工業団地の中で
多種多様な業種の企業を束ねて
いる一般社団法人白井工業団地
協議会を紹介します。



白井工業団地の歴史とともに
歩んできた同協議会について、
第6代事務局長の志摩龍雄さん
に詳しく話を伺いました。

昭和30年代後半に千葉県開発
公社の手で開発が始まった内陸
工業団地の一つが白井工業団地
です。昭和41年の分譲開始と
もに企業進出が始まり、昭和42
年に第一工業団地部分造成が終
了し、昭和43年から本格的操業
に入りました。

昭和45年当時の操業24社で立
ち上げた「白井工業団地連絡協
議会」が現協議会の前身で、千
葉県開発公社の出先機関があっ
た千葉県開発工業団地サービ
センター（現公民センター）内
に事務局を構えて活動を始め、
昭和48年の第二工業団地操業開
始とともに「白井工業団地協議
会」と改称し、平成22年に社
団法人化を図り現在に至ります。

志摩さんは元農林水産省職員
で、国家公務員労働組合総連合
会や全農林労働組合の委員長、
審議会委員などを務めた経歴が
あり、協議会の変革が求められ
ていた平成15年に事務局長に就

任しました。

白井工業団地協議会の役割は
各社の要望を吸い上げて行政機
関と交渉したり、団体や研究機
関との連絡調整、職場の労働上
の安全を働きかけるほか、講座
や教育事業を実施する中で運転
免許・資格取得を行い、工業団
地のより良い環境づくりを通し
地域社会と良好な関係を築いて
行くなど多岐にわたります。



これまで組織の法人化、工業
団地全体での路上待機駐車の一
掃、一斉清掃の取り組み、地区
の伝統行事の開催支援、昨年は
国の地方創生事業で工業団地の
PRとさまざまな事業にチャレ
ンジしてきたことです。

加盟企業は278社に上り、
今や千葉県内陸部で業種、企業
数において最多・最大を誇るよ
うになった白井工業団地の総合
窓口として、志摩さんは「年々
協議会の役割と重要性は増して
いるため、時代遅れにならない
よう現状に満足することなく取
り組むことを心掛けている」と
言います。

工業団地や加盟企業、工業団
地での就業に関心のある人は同
協議会に相談してみませんか。

問 一般社団法人白井工業団地
協議会 ☎（491）0224、
商工振興課商工振興班 内線
3243